



営農NEWS



ナス栽培で各種害虫の発生に注意しましょう

本県のナス栽培は、一部に施設を利用した周年栽培もありますが、主体は露地栽培です。

今後、気温が上昇してきますと、各種の害虫（アザミウマ類、コナジラミ類、ハダニ類、ホコリダニ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類など）の発生が増加してきます。

これらのうち、微小な害虫は、発生を確認することがなかなか困難ですが、見逃して多発生しますと、難防除となってしまうので、圃場を丁寧によく観察し、早期発見に努めるとともに、発生初期からの防除を徹底してください。

<被害と早期発見のポイント>

- 1 アザミウマ類は、主に葉や花弁を加害するヒラズハナアザミウマ、葉、ヘタ、花弁などを加害するミカンキイロアザミウマ、葉、果実、ヘタ、果梗などを加害するミナミキイロアザミウマなどがあり、加害種によりやや症状が異なります。まずは、早期発見に努めましょう。遅れると、葉にかすり状の傷ができて、激しいと茶褐色に変色して落葉し、果実ではガク部を中心に変色や亀裂を生じて、商品価値を失くします。
- 2 コナジラミ類は、葉や株をゆすると、白い羽の微小な虫が飛びだすので発見しやすいです。直接の吸汁害による生育抑制と、排泄物によるすす病の発生が問題となります。
- 3 アブラムシ類は、ワタアブラムシやモモアカアブラムシなどが、主に葉裏や展葉の先端部に寄生します。多発生すると葉の表面に脱皮殻やすす病が付着し、生育が抑制されます。各種のウイルス病を媒介するので、注意が必要です。
- 4 ハダニ類は、主に葉裏に寄生しますが、葉表から見ても脱色カスリ状に変色します。初期は下葉に寄生しやすいので、これを早く発見するようにします。
- 5 チャノホコリダニは、生長点付近の葉が奇形となる他、葉裏がツヤのある淡黄色に変色して裏側に巻き込んで、激しいと芯止まりになります。果実は、ガクや果梗部分に変色し、果面がサメ肌状になります。虫は0.2mm前後なので、ルーペでも観察が困難です。一度芯止まりになると回復に長期間を要するので、大きな減収となります。
- 6 オオタバコガは、若齢幼虫では新芽や花を食害しますが、すぐに果実内へ食入します。齢期が進み、食害量も多くなると、次々と新しい果実に移動しますし、茎の中にも潜入するので、被害が大きくなります。ハスモンヨトウは、主に葉を暴食しますが、老齢幼虫は果実も加害して大きな被害となります。
- 7 ハモグリバエ類は、幼虫が葉肉内を食入する被害（いわゆる「絵かき虫」）で、ナスでは葉が黄化して落葉しやすくなるので、早めの防除に努めます。

表 1 ナス定植後の生育期における各種害虫の主な防除薬剤（平成 30 年 6 月 7 日現在）

| 薬剤名 | アザミウマ類 | コナジラミ類 | アブラムシ類 | ハダニ類 | チャノホコリダニ | オオタバコガ | ハスモンヨトウ | ハモグリバエ類 | 分類 |
|-------------|-----------------------------|--------|--------|------|----------|--------|---------|---------|-----|
| アフーム乳剤 | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 6 |
| アニキ乳剤 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | 6 |
| ディアナSC | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| モベントフロアブル | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | 23 |
| コテツフロアブル | ○ <small>ミカン・ミナミキイロ</small> | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | 13 |
| ウララDF | ○ <small>ミカンキイロ</small> | ○ | ○ | | | | | | 29 |
| プレオフロアブル | ○ <small>ミナミキイロ</small> | | | | | ○ | ○ | ○ | un |
| コルト顆粒水和剤 | | ○ | ○ | | | | | | 9B |
| スターマイトフロアブル | | | | ○ | ○ | | | | 25A |
| カネマイトフロアブル | | | | ○ | ○ | | | | 20B |
| マイトコーネフロアブル | | | | ○ | | | | | 20D |
| プレバソンフロアブル5 | | | | | | ○ | ○ | ○ | 28 |
| アタブロン乳剤 | ○ <small>ミナミキイロ</small> | | | | | ○ | ○ | | 15 |
| カウンター乳剤 | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | 15 |
| スタークル顆粒水溶剤 | ○ | ○ | ○ | | | | | | 4A |
| ベストガード水溶剤 | ○ <small>ミナミキイロ</small> | ○ | ○ | | | | | | 4A |
| スタークル粒剤 | | ○ | ○ | | | | | | 4A |
| ベストガード粒剤 | | | ○ | | | | | | 4A |

注) 1. 表中のミカンキイロやミナミキイロは（アザミウマ）を略して表示しました。

2. 分類欄には、IRACコードを記載しました。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040